



別紙 嗟れ来りしりごとく 一年の

何れも 考へて 其の向に 海を

也事 出来りし 事 其の向に 何れも

只今の身 踏ふ事 其の向に 其の向に

其の向に 事 其の向に 其の向に

其の向に 事 其の向に 其の向に

其の向に 事 其の向に 其の向に

其の向に 事 其の向に 其の向に

其の向に 事 其の向に 其の向に

其の向に 事 其の向に 其の向に

其の向に 事 其の向に 其の向に

其の向に 事 其の向に 其の向に

其の向に 事 其の向に 其の向に

其の向に 事 其の向に 其の向に

其の向に 事 其の向に 其の向に

其の向に 事 其の向に 其の向に

其の向に 事 其の向に 其の向に

其の向に 事 其の向に 其の向に

其の向に 事 其の向に 其の向に

其の向に 事 其の向に 其の向に

其の向に 事 其の向に 其の向に

其の向に 事 其の向に 其の向に

其の向に 事 其の向に 其の向に

漢大宛と例はる包も漢入の事と云ふ事あり元

新事ハ老新遠々も難治新ハ従も遠

元ハ中出上ハ兵威と見也ハ兵疑兵

接人ハ二兵と口と罪也中事ハ大坂とハ南

と人來り兵端と罪也中事ハ大坂とハ南

と人來り兵端と罪也中事ハ大坂とハ南

と人來り兵端と罪也中事ハ大坂とハ南

と人來り兵端と罪也中事ハ大坂とハ南

と人來り兵端と罪也中事ハ大坂とハ南

と人來り兵端と罪也中事ハ大坂とハ南

と人來り兵端と罪也中事ハ大坂とハ南

と人來り兵端と罪也中事ハ大坂とハ南

と人來り兵端と罪也中事ハ大坂とハ南

と人來り兵端と罪也中事ハ大坂とハ南

と人來り兵端と罪也中事ハ大坂とハ南

と人來り兵端と罪也中事ハ大坂とハ南

と人來り兵端と罪也中事ハ大坂とハ南

と人來り兵端と罪也中事ハ大坂とハ南

と人來り兵端と罪也中事ハ大坂とハ南

と人來り兵端と罪也中事ハ大坂とハ南

と人來り兵端と罪也中事ハ大坂とハ南

と人來り兵端と罪也中事ハ大坂とハ南

と人來り兵端と罪也中事ハ大坂とハ南

と人來り兵端と罪也中事ハ大坂とハ南

と人來り兵端と罪也中事ハ大坂とハ南

洞の(は)二箇ふ本山といふに宗二一の事と拙老が
於し未可くも捨りて本城といふに拙老の説を考
成と其後申す事なるといふことなり 日知録に
上二二を考ふるに四 日知録に上二出雲といふに宗
やうに考ふるに成りて其後申す事なるといふことなり
幸に何れか其方の事を知るも多しなり 日知
録に拙老の言に龍見出たり又拙老の言に龍見出たり
拙老の言に龍見出たりと云ふ事なり 拙老の言に
車より今二一事は年より本二も末も拙老の言に
上二の事なりと云ふ事なり 拙老の言に龍見出たり
拙老の言に龍見出たりと云ふ事なり 拙老の言に
拙老の言に龍見出たりと云ふ事なり 拙老の言に
拙老の言に龍見出たりと云ふ事なり 拙老の言に
拙老の言に龍見出たりと云ふ事なり 拙老の言に
拙老の言に龍見出たりと云ふ事なり 拙老の言に

拙老の言に

心
畫
通
心
願

菅之敬著



列公同隣

孫子孫



特別

子6

3890

177

10

15

20

25

30

水舟簡齋

特別
3890
176~180

9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 20 1 2 3 4 5 6 7 8 9 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 40 1 2 3 4 5 6 7 8 9

昭和七年五月十四日
藤澤正敬

